

薄井憲二 2008

バレエ・コレクション企画展

## ロマンティック・バレエ

～妖精と異国のバレエ～

2008/9/17 (Wed.)～2008/10/13 (Mon.)



Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二 2008

バレエ・コレクション企画展

## ロマンティック・バレエ

～妖精と異国のバレエ～

2008/9/17 (Wed.)～2008/10/13 (Mon.)

### 次回予告

#### 薄井憲二バレエ・コレクション Vol.15

アルヘンティーナ ～伝説のスパニッシュダンサー～  
(期間：2008/10/15～11/30 於：2階メインエントランス)

#### 薄井憲二バレエ・コレクション企画展 2008

##### バレエの改革者たち

～ダンカンからベジャールまで～

(期間：2008/12/5～2009/1/18 於：2階共通ロビー内ポッケ)  
\*12/28～1/4のみ、企画展はお休みとさせていただきます。

◎企画・監修 芳賀直子 (はが・なおこ / 舞踊研究者 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)  
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22 tel : 0798-68-0223 (代表) fax : 0798-68-0212

### ロマンティック・バレエとは

文学・芸術において流行したロマン主義の影響を受けて1830年代～1840年代に最盛期を迎えたバレエのスタイル及び作品をロマンティック・バレエといいます。

テクニック、衣裳という面においても現在私たちが思い浮かべる典型が確立された時代でもありました。具体的にはトゥ(爪先)で踊る技術がはっきりと確立され、サテンのトゥシューズに白くふわふわとしたロマンティック・チュチュ(釣鐘型スカートのチュチュ)で踊られるようになったのです。

この時代は女性ダンサー(＝バレリーナ)の黄金期ともいう事ができます。今回ご紹介しているタリオニ、エルスラー、チェリート、グラーン、グリジといった多くの女性スターが誕生しました。

作品の舞台にはロマン主義の影響を受けて遠い異国(当時流行していた東方)あるいは妖精の国などこの世でないどこかが多く登場し、身分違いの恋、異国の女性との恋がテーマとなりました。

1831年の『悪魔ロベール』初演から始まり、1870年『コッペリア』で終わると考えられることも多いのですが、今回展示しているような非常に大掛かりな装置を使った日本風作品などが1890年代まで生み出されています。しかし、バド・キャトルを踊るような実力、人気とも優れた踊り手は次第に減っていき、バレエの中心はこの後ロシアへと移ってゆくことになるのです。

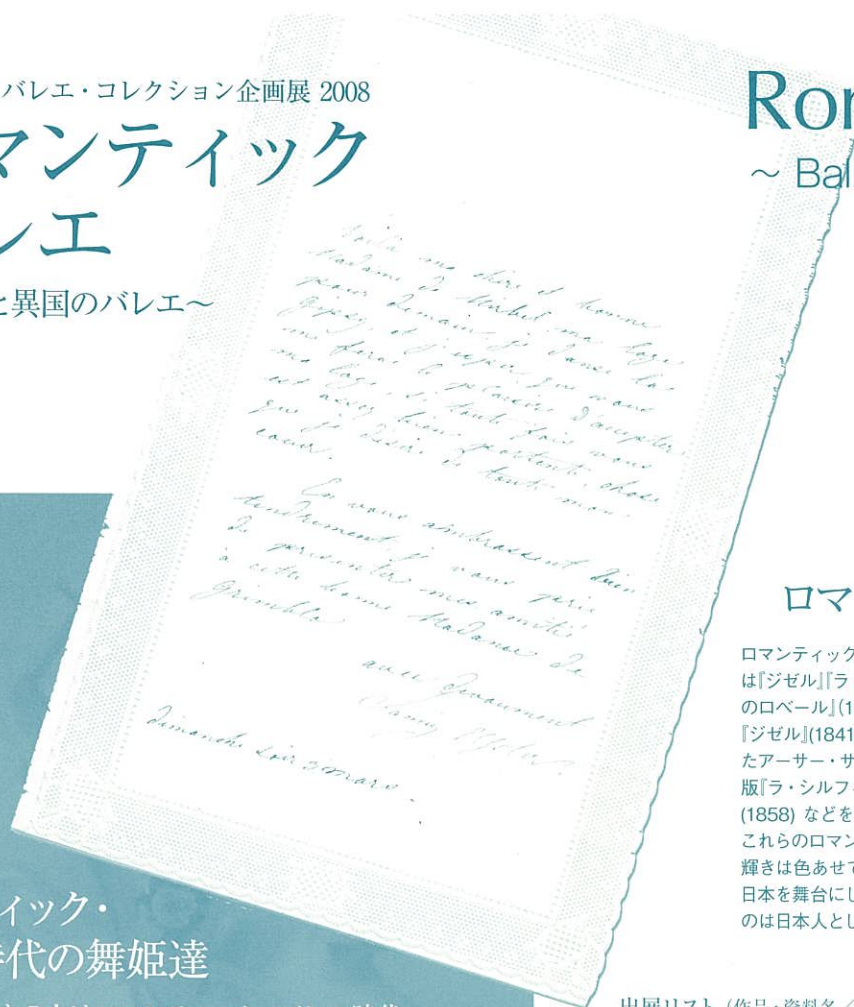
Hyogo Performing Arts Center

# ロマンティック バレエ

～妖精と異国のバレエ～

# Romantic Ballet

～ Ballet of Sylph and Orient ~



## ロマンティック・ バレエ時代の舞姫達

今回取り上げた5人はロマンティック・バレエ時代  
を代表するダンサーたちです。

マリー・タリオニ / Taglioni Marie (ダンサー)

1804年4月23日生まれ、1884年4月22日死去。

天上的、キリスト教的と評された妖精のような清らかな魅力と軽やかな踊りで人気を博し、『ラ・シルフィード』を初演した。

カルロッタ・グリジ / Grisi, Carlotta (ダンサー)

1819年6月28日生まれ、1899年5月20日死去。

エルスラーの情熱とタリオニの清純さの両方を兼ね備えるダンサーとして愛され、『ジゼル』を初演。

ファニー・エルスラー / Elssler, Fanny (ダンサー)

1810年6月23日生まれ、1884年11月27日死去。

マリー・タリオニとは対照的な情熱的で官能的な魅力で人気を二分。  
『カチューシャ』の踊りを得意とした。

ファニー・チェリート / Cerrito, Fanny (ダンサー)

1817年5月11日生まれ、1909年5月6日死去。

非常に力強い踊りと官能的で情熱的な表現で観客を魅了した。  
『オンディーヌ』『ラ・ヴィヴァンディエール』などを初演。

ルシル・グラーン / Grahn, Lucile (ダンサー)

1819年6月30日生まれ、1907年4月4日死去。

コペンハーゲンに生まれ、ブルノンヴィルに学び、『ヴァルデマル』(ブルノンヴィル版  
『ラ・シルフィード』)などを初演。後にワーグナー作品のバレエ場面振付も手がけた。



## ロマンティック・バレエの作品達

ロマンティック・バレエ時代の作品で現在も踊られ続けている代表的作品は『ジゼル』『ラ・シルフィード』『コッペリア』でしょう。振付家としては、『悪魔のロベール』(1836)、『ラ・シルフィード』(1832)、ジャン・コラリと共に『ジゼル』(1841)を振付けたフィリッポ・タリオニ、『コッペリア』を振付けたアーサー・サン＝レオン、コペンハーゲンを中心に活躍しブルノンヴィル版『ラ・シルフィード』(1950)、『ナポリ』(1842)、『ゼンツィアーの花祭り』(1858)などを振付けたオーギュスト・ブルノンヴィルらが活躍しました。これらのロマンティック・バレエ時代の作品は2世紀近くたってなおその輝きは色あせていません。また失われた作品の中には今回ご紹介している日本を舞台にした『目覚め』(1894)、『イエツダ』(1879)といった作品があるのは日本人としては興味深いことでもあります。

### 出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

- ◆パド・キヤトルを踊るマリー・タリオニ、カルロッタ・グリジ、ファニー・チェリート、ルシル・グラーン(リトグラフ 手彩色[AP-236] / 1845年頃) <表紙写真>  
The Celebrated Pas de Quatre / Hand colored print / c.a.1845 / 52.5×45.3 (AP-236)
- ◆『ラ・ポルカ』を踊るカルロッタ・グリジとシャルル・ペロー(リトグラフ 手彩色[AP-214] / 1844年)  
"La Polka" danced by Grisi, Carlotta and Perrot / Published by T Mc Lean / London / Hand colored print / 1844.5 / 33.5×44.0 (AP-214)
- ◆『ラ・クラコヴィエンヌ』を踊るルシル・グラーン(リトグラフ 手彩色[AP-26] / 1840年代頃)  
Grahn, Lucile in "La Cracovienne" / Published by Grambart Junin & Co / London / Hand colored print / 1840s / 17.5×12.5 (AP-26)
- ◆『ラ・ヴィヴァンディエール』のフランス万歳、の場面を踊るファニー・チェリート  
(リトグラフ 手彩色[AP-222] / 1844年頃)  
Cerrito, Fanny in "La Vivandière" scene of Salve à La France / Published by Firth & Hall / Hand colored print / c.a.1844 / 40.7×30.5 (AP-222)
- ◆『足の不自由な悪魔』第3幕を踊るファニー・エルスラー(リトグラフ 手彩色[AP-213] / 1836年頃)  
Elssler, Fanny in "Diable boiteux" 3 act / Hand colored print / Paris / c.a.1836 (AP-213)
- ◆『ジゼル〜あるいは妖精達』を踊るカルロッタ・グリジ(リトグラフ 手彩色[AP-251] / 1841年頃)  
Grisi, Carlotta in Ballet of "Giselle Les Walls" / c.a.1841 / 45.5×35.0 (AP-251)
- ◆『ラ・シルフィード』を踊るマリー・タリオニ(リトグラフ [AP-276] / 1832年頃)  
Marie Taglioni in "La Sylphide" / Design by Bourgarel, Lithograph by Gzell / Published by Lith de Thierry frères / c.a. 1832 / 25×17.5 (AP-276)
- ◆ファニー・エルスラーの直筆、署名入りの私信(手紙 [AU-50] / 1950年代日付なし)  
1 page hand written signed private letter of Elssler, Fanny / 1950's no dated / 19.4×12.3 (AU-50)
- ◆カルロッタ・グリジの直筆、署名入りの私信(手紙 [AU-53] / 1844年10月1日付)  
Folded 4 pages ( 1 page and 3 lines ) of hand written signed private letter of Grisi, Carlotta / Oct. 1 / 1844 / 20.4×13.3 (AU-53)
- ◆ファニー・チェリートの直筆、署名入りの私信(手紙 [AU-55] / 1800年代日付なし)  
1 page of hand written signed private letter of Cerrito, Fany / 1800's no dated / 19.6×13.1 (AU-55)
- ◆マリー・タリオニの直筆、署名入りの私信(手紙 [AU-80] / 1800年代日付なし) <左上写真>  
Folded 4pages, 5 lines letter of hand written signed private letter of Taglioni, Maria / 1800's no dated / 20.3×12.7 (AU-80)
- ◆『栄光に包まれた娘』[ラ・シルフィード]のポスター  
(ポスター [PO-10] / ロンドンシアター・ロイヤル、コヴェント・ガーデン / 1832年7月28日)  
Poster of "La Fille d'Honneur / La Sylphide" (Performed by Mlle Mars and Mlle. Taglioni) / London, Theatre Royal, Covent Garden / 1832.7.28 / 33.1×19.3 (PO-10)
- ◆リタ・サンガリのポートレート(プリント [AP-243] / 1830~1840年代)  
Portrait of Mlle Rita Sengalli / Print / c.a.1830~40 / 22.9×18.8 (AP-243)
- ◆『目覚め』のポスター(ポスター [PO-41] / 1894年)  
Poster of "Le Réve" / G.Hartmann & Cie Editeurs, Grav.Imp.Design by Seinten / 1894 / Paris / 94.0×76.0 (PO-41)
- ◆『目覚め』のG. オットーニ、ロブスチンのためのアルフォンス・ミュシャによる衣装デザイン  
(衣装デザイン [AP-155] / 1894年) <左下写真>  
Costume design of "Le Réve" for Mlle. G.Ottolini and Mlle. Lobstein, by Mucha / Hand colored print / 1894 / Paris / 22.3×30.2 (AP-155)
- ◆『目覚め』のダイダ後マウリのためのアルフォンス・ミュシャによる衣装デザイン(衣装デザイン [AP-275] / 1894年)  
Costume design of "Le Réve" for Mlle. Mauri as Daida, by Mucha / Hand colored print / 1894 / Paris / 30.3×22.2 (AP-275)
- ◆『シャクンタラー』の一場面(リトグラフ [AP-251] / 1858年)  
Scene from Ballet "Sakountala" / lithograph by C. Nanteuil, printed by Bertauts.Cadet / Lithograph / 1858 / 31.5×41.0 (AP-251)
- ◆シルフィード圖彙〜マリー・タリオニに捧げる〜A.W.シャロン(リトグラフ手彩色[AP-202] / 1845年7月15日)  
A.W.Chalon R.A. La Sylphide Souvenir d' adieu de Marie Taglioni / lithograph by R.J.Lane A.R.A. / Hand colored print / 1845 7 15 / 58.0×38.0 (AP-202)